

交通1	学習日 月 日	名前
------------	------------	----

教科書 P158～ 要点ノート P94～

人間はもともと徒歩で移動

駄獣交通 … 動物を利用

アンデス … リャマ、アルパカ

チベット … ヤク

砂漠 … ラクダ

北極圏 … トナカイ

各地でウマを利用

文明の発達とともに、様々な交通機関が出現

→ 地形に関係なく、早く、大量に、安く移動できる(輸送できる)ようになった

※ (1) が短縮された

船 → 海を移動することができるようになる

ワットによる(2) の発明 = 産業革命、交通革命

→ 原料輸送などに蒸気機関車を利用、(3) が実用化

→ 蒸気船を(4) が実用化

カール・ベンツ … 内燃機関(ガソリンエンジン)搭載の自動車の開発(1885)

ライト兄弟 … 世界初の飛行機による飛行(1903)

日本における交通の発達

1872 日本初の鉄道開通(新橋～横浜)

1964 東海道新幹線開通(東京～新大阪)

1964 日本初の高速道路開通(名神高速道路)

2027 リニア中央新幹線開通(?)

交通機関の特色

航空機

長所:高速、地形の制約を受けない

短所:輸送料が(5)、運賃が高い、気象の制約、騒音問題

近年、(6) 空港 = を中心に航空網の整備が進む

(7) … 格安航空会社(日本では整備が進まない、東南アジアでは半数以上がLCC)

※ ハブ空港

地域の航空交通の拠点となる空港のこと。その空港を中心に航空路が放射状に延びる。

離発着が24時間可能であること、4000m級の滑走路が複数あることなどが条件となる。

韓国の(8) 空港、シンガポールの(9) 空港

(10) のシャルル＝ド＝ゴール空港、(11) のヒースロー空港

アメリカの(12) 空港、ジョン＝F＝ケネディ空港など

貨物輸送では、(13) 製品を中心に航空機輸送が増加 = 半導体、薬、映像機器など

水上交通

長所:安く大量に輸送できる

短所:遅い、気象に左右される

世界の貨物輸送の80%以上を占める

(14) … 箱型容器(サイズは世界標準)に貨物を入れて輸送

海陸一貫輸送 = (15)

航空機とコンテナ船の組み合わせ = (16)

※ このように複数の輸送手段を組み合わせることを(17) という。

(18) … 登録料が安い国に船を登録すること。パナマやリベリアに多い。

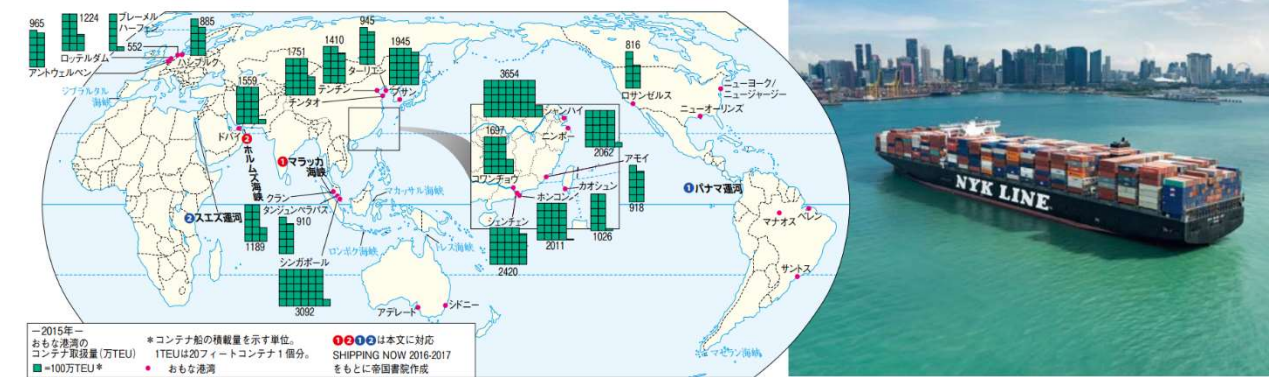


図3 世界のおもな港湾のコンテナ取扱量

写真 コンテナ船 (NYK BLUE JAY 14,000TEU)

海上交通

要衝となる運河・海峡を覚える … スエズ運河、パナマ運河、マラッカ海峡、ホルムズ海峡、ボスポラス海峡等

地球温暖化による(19)

内陸水路交通

主な国際河川を覚える … ライン川、ドナウ川、ミシシッピ川、セントローレンス川、エリー湖、アマゾン川等